

中央住宅

松戸でディンクス向け4棟 ファミリー街区から独立

ポラスグループの中央住宅（埼玉県越谷市、品川典久社長）は、千葉県松戸市の18棟の分譲地内に「Sumika空の稔（すみか・そののみのり）」街区＝写真＝を建築し、販売を開始した。

同街区は、通常ファミリーを想定して企画・販売される戸建て分譲地に対し、主にDINKSま

たは3人家族向けに開発。分譲地内の他の14棟と使用する道路が別になるように計画し、生活ス

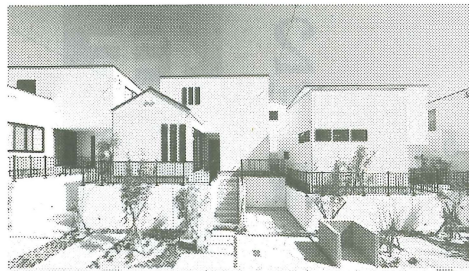
タイルや時間帯が異なるファミリー世帯が入居する街区から独立させた。

また、住宅内もDINKSの生活のために必要

なものを厳選して詰め込み、ニーズの低いものを大胆に削除したつくりと

した。仕事で留守になりがちなDINKS世帯では室内干しが主流のため、バルコニーをなくし、乾燥機と室内干し空間を設置。ダブル洗面化粧台で忙しい朝の時短も可能とした。間取りはあえて1〜2LDKを採用し、2階居室をセカンドリビングとしても活用可能とした。さらに将来の売却や賃貸も想定し、資産価値の低減を防ぐデザインや提案も行う。

新京成線みのり台駅



徒歩7分に位置する同物件は敷地面積120平方メートル、延べ床面積79〜83平方メートル。販売価格は3680万円〜3780万円。